

はまごう小だより

～あいがとうの花を咲かせよう！～

伊勢市立浜郷小学校
令和4年11月21日
発行者 平生 理恵

第16号

修学旅行に行ってきました！！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される中、11月9日・10日無事修学旅行を実施することができました。子どもたちがあれほど楽しみにしている修学旅行ですから、とにかく『実施できる』ということが第一の目標でした。

11月9日、素晴らしい秋晴れの下、午前7時浜郷小学校6年生の一団は、東紀州に向かって出発しました。

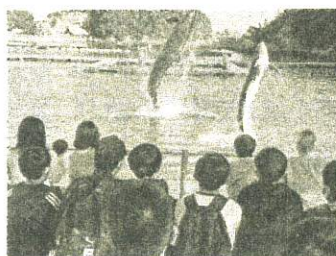
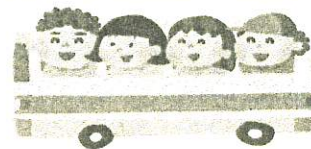
1つ目の見学地は『和歌山県土砂災害啓発センター』。ここではどのようなメカニズムで土砂災害が起こるのかを学び、自分事として土砂災害について考える授業を受けました。伊勢市には宮川・勢田川・五十鈴川と3つの川が流れていることから考えさせられることが多かったです。

2つ目に訪れたのは『那智の滝』でした。那智の滝是那智大社の別宮である飛瀧神社の御神体として崇拝されてきた滝です。落差133m、滝つぼの深さは10mあり、水が落ちる様子を見ている子どもたちは自然と寡黙になっていました。

昼食は『那智ねぼけ堂』でいただきました。メニューはまぐろカツカレー。集合時刻が大変早かったからさぞかしお腹が空いていたことでしょう。子どもたちは実行委員さんの「いただきます！」の号令とともに一心に食べていました。

1日目最後の見学地は『太地町立くじら博物館』。この建物は太地町の捕鯨400年の歴史と技術を後世に伝えることを目的に開館されたといわれていて、鯨の生態や捕鯨に関する資料1000点以上が展示されています。ここでは館内の見学の他にイルカショーやクジラショーを見て、中にはエサやり体験を楽しんだ子どもたちもいました。

くじら博物館で楽しんだ後、宿泊地である熊野の宿『海ひかり』に向かいました。バスの中では、「やったー、やっとホテルや〜。」「楽しみ〜！！」という声が聞こえてきました。宿について一息つくとすぐに夕食となりました。ちょっぴりの緊張とあちらこちらへの見学で疲れを感じていた子どもたちも、美味しい食事を前に笑顔笑顔でした。食事を終えると「昨日は皆既月食でしたね。それでは今から少し天体観測に行きましょう。」という先生からの誘いのもと、七里御浜まで出かけました。そこでサプライズイベント！！浜郷小学校の子どもたちだけのために、本格的な花火を上げてもらいました。子どもたちは大喜びでした。



七里御浜から戻ってくるとお風呂タイムとなりました。『海ひかり』さんのご厚意で、お風呂には大量のアヒルが入れてもらってありました。このアヒルは子どもたちにとっては遊ぶものですが、それ以外にもニギニギすることで血行が良くなるという効果もあるのだそうです。お風呂が終わっても子どもたちのテンションは上がりっぱなしで、廊下に置いていただいたお茶やお水を飲みに出てくる子どもたちで廊下は何だか賑わっていました。

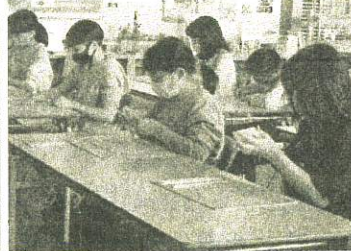
2日目最初の見学地は世界遺産に指定された『花窟神社』です。この神社は日本最古の神社ともいわれ、バスガイドさんから「この『花の窟』はこの世とあの世が接する場所です。」と話されるととても神々しい気持ちになりました。



30分ほど滞在すると、次はみかん狩りをするために『金山パイロット』に向かいました。到着前に美味しいみかんの選び方と正しい摘み方を確認し、現地では班別による自由行動となりました。その場でお腹いっぱい食べ、渡された袋いっぱいのみかんを詰めていました。子どもたちが食べた最高個数は15個でした。

次は鬼ヶ城を見学し、鬼ヶ城センターで昼食を食べ、最後のお買い物タイムとなりました。子どもたちはお財布の中身と相談しながら、家族のお土産を一生懸命選んでいました。

次はいよいよ修学旅行最後の見学地となる熊野古道センターです。ここでは東紀州の素材を生かした体験学習をすることができます。この日、子どもたちは尾鷲ひのきの間伐材を使って、世界で一つだけのマイ箸を作りました。



熊野古道センターを後にすると、多気パーキングへとバスは進んでいきました。この時期になると日暮れがあっという間にやってくるため、明るいうちにここで閉会式を行うことにしました。修学旅行実行委員さんの進行で閉会式が行われ、実行委員代表からの挨拶がありました。挨拶の中には、旅行に同行して下さった添乗員さんやカメラマンさん、安全な旅にしてくださったバスの運転手さんやガイドさん、引率した先生方への感謝の言葉がありました。とても楽しい旅行であったこと、ともに過ごした友達と楽しい思い出が作れたことなどが話され、聞いている私たちに感動を与えてくれました。



閉会式を終え、浜郷小学校に戻ってくると、とっぴりと日が暮れていましたが、先生方が、すべての教室に電気をつけて待っていてくれました。運動場には保護者の皆さんがお迎えに来てくださっていました。最後の先生のお話が終わり、子どもたちを保護者の皆さんにお返ししました。保護者の皆さん、修学旅行に関わった準備、早朝のお見送り、夕刻のお出迎え等々、ご協力ありがとうございました。お子さんからは沢山のお土産とお土産話が合ったことでしょう。この旅によって子どもたちにとって『思い出』という多くの宝物ができたことだと思います。みんなの願いであった“無事に修学旅行を終えること”ができて本当に良かったです。

